

青森市埋蔵文化財調査報告書 第132集

市内遺跡

発掘調査報告書 32

令和5年度

青森市教育委員会

青森市埋蔵文化財調査報告書 第132集

市内遺跡

発掘調査報告書 32

令和5年度

青森市教育委員会

例　　言

1. 本書は、国と県の補助金交付を受けて令和5年度に実施した市内遺跡発掘調査等事業の報告書であり、分布・試掘・確認調査等の成果を収録したものである。
2. 成果を収録した遺跡および地区は下記のとおりである。
 - [1] 分布調査：内真部城館群、飛鳥地区、大別内地区
 - [2] 試掘・確認調査：小柳遺跡①、石江遺跡①・②、小柳遺跡②、浪館（2）遺跡、沢田遺跡、近野遺跡、銀前田遺跡、小柳遺跡③、岡本遺跡①・②、安田近野（2）遺跡、川原館遺跡、栄山（2）遺跡
3. 本書で使用した「試掘調査」とは、埋蔵文化財の有無を確認するための調査（未登録地の調査）、「確認調査」とは周知の埋蔵文化財包蔵地の内容等を把握するための部分的な調査を示す。
4. 本書の作成および編集は青森市教育委員会が行った。
5. 掃図の縮尺は各図にスケールを付した。なお、写真図版の縮尺は統一していない。
6. 図版番号及び表番号並びに写真番号は、「第○図」、「第○表」、「写真○」とし、順番に通し番号を付した。
7. 出土遺物及び原図・データ等は、一括して青森市教育委員会が保管している。
8. 第Ⅲ章第1節に報告した内真部城館群の分布調査については、五所川原市市浦総合支所主幹兼地域振興係長　榎原滋高氏よりご指導をいただいた。また、次の各位からご協力を賜った。記して感謝を表する次第である（敬称略・順不同）。

田中　洋一、村田　健一、奥谷　誠一、鈴木　和子、岩田　安之

目 次

例言

目次

第Ⅰ章 事業実施の概要

第1節 調査要項	1
第2節 事業照会の概要	1

第Ⅱ章 埋蔵文化財包蔵地の登録等

第1節 新規登録・範囲変更遺跡	14
-----------------	----

第Ⅲ章 分布調査及び試掘・確認調査

第1節 分布調査	16
----------	----

第2節 試掘・確認調査	
-------------	--

1. 小柳遺跡①	20
2. 石江遺跡①	20
3. 石江遺跡②	20
4. 小柳遺跡②	20
5. 浪館(2)遺跡	21
6. 沢田遺跡	21
7. 近野遺跡	21
8. 銀前田遺跡	21
9. 小柳遺跡③	21
10. 岡本遺跡①	22
11. 岡本遺跡②	22
12. 安田近野(2)遺跡	22
13. 川原館遺跡	22
14. 栄山(2)遺跡	22

報告書抄録	37
-------	----

既刊埋蔵文化財関係報告書一覧

第Ⅰ章 事業実施の概要

第1節 調査要項

1. 事業目的

青森市内においては、住宅建築を主とした建設計画等の増加により、破壊・消滅の危機に瀕している遺跡が認められる。貴重な埋蔵文化財を保護し、各種開発行為との円滑な調整を図るために、周知の埋蔵文化財包蔵地の現状把握や、今後開発が予想される地域における未発見の遺跡の新規登録など詳細な基礎資料を整備する必要がある。

以上の点を踏まえ、周知の埋蔵文化財包蔵地及びその隣接地の分布調査や開発行為に先立つ試掘・確認調査を実施するものである。なお、本事業は、国・県の補助金交付を受けている。

2. 対象地域・遺跡名

[1] 分布調査：内真部城館群、飛鳥地区、大別内地区

[2] 試掘・確認調査：小柳遺跡①、石江遺跡①・②、小柳遺跡②、浪館（2）遺跡、沢田遺跡、近野遺跡、銀前田遺跡、小柳遺跡③、岡本遺跡①・②、安田近野（2）遺跡、川原館遺跡、栄山（2）遺跡

3. 事業実施期間

令和5年4月1日～令和6年3月31日

4. 調査指導機関

文化庁文化財第二課
青森県教育厅文化財保護課

5. 調査体制

調査事務局

教 育 長	工藤 裕司
教 育 部 長	小野 正貴
教 育 次 長	武井 秀雄
文化遺産課長	鈴木謙一郎
主 幹	児玉 大成
主 査	工藤 洋樹
"	石戸谷 勉
文化財主査	木村 淳一（調査担当）
"	設楽 政健（調査担当）
主 事	長崎 泰幸

第2節 事業照会の概要

当委員会では、遺跡と開発事業との円滑な調整を図ることを目的として、開発に際しては予定地

内の遺跡の有無を事前に照会するよう、市ホームページ等で呼びかけている。照会については、個人や民間事業者（以下、民間）と市関係課（以下、市内）からのものがあり、民間については、文化遺産課窓口での直接照会のほか、メール・FAXでも受け付けている。市内については、4月に全庁一齊照会を実施しているほか、開発計画の都度寄せられた照会に対応している。照会の概要については、昨年度報告分以降、2022年12月～2023年11月における民間分を第1表、同時期の市内分を第2表に示した。照会件数は、2022年度分（2022年12月1日～2023年3月31日）で計254件・328箇所（民間233件〔233箇所〕、市内関係21件〔95箇所〕）、昨年度分（4月1日から11月30日）は、計719件・978箇所（民間638件〔638箇所〕、市内関係81件〔340箇所〕）の照会があった。今年度分の照会件数を前年度の同時期（計779件・1022箇所、うち民間721件〔721箇所〕、市内関係58件〔301箇所〕）と比較すると、市内分は微増であるが、民間分は減少している。

対象地区毎の民間・市内を合わせた照会件数は、青森地区1225箇所（93.8%）、浪岡地区81箇所（6.2%）であり、青森地区的割合が増加している。青森地区的割合を地区毎にみると、青森地区では、岡造道・合浦・小柳・八重田・佃などを含めた東地区で24.4%、石江・三内・沖館・富田・新田などを含めた西地区で22.5%、旭町・大野・浪館・安田などを含めた南地区で21.2%であった。民間関係の照会目的については、売買目的を主体とした物件調査が565件（64.9%）と最も多く、次いで建設計画が196件（22.5%）であったが、物件調査については、基本的に土地売買成立後に建築計画に移行するため、実際は建築計画が大半を占めると考えられる。

照会に対する回答は、埋蔵文化財包蔵地台帳や遺跡地図を基に回答している。当課からの回答は、「遺跡に該当している」（表中回答Aと表記）、「遺跡に隣接している」（表中回答Bと表記）、「遺跡に該当していない」（表中回答Cと表記）の三種である。このうち、AもしくはBと回答した事例は、民間では191件（21.9%）、市内関係で92件（18.1%）であり、これらのうち、14件について試掘・確認調査を実施した（第3章）。

昨年度の報告以降、12月までの文化財保護法第93条および第94条に基づく届出・通知は、55

件(35遺跡)であった(第3表)。このうち第93条に係る届出(個人・民間事業)は40件、第94条に係る通知(公共事業)は15件であり、昨年度の同じ時期(第93条119件、第94条28件)と比べて、第93条・第94条ともに減少し、特に第93条に係る届出件数は6割近くの減となつた。

第1表 令和4年12月～令和5年11月 屋間からの事業回収一覧

No.	年月日	開公者	地名	計画(開公)	地主(開公)	面積(開公)	付番	地番名
104	03.11.26	新緑木課	新義	安田字の野	新義	125.00	B	0401 (1) 鹿瀬
		新義	新義字ノ八ヶ郷	新義	新義新義工事	125.00	C	0401 (2) 鹿瀬
		新義	45石子平山	新義	新義新義工事	125.00	B	二門瀬
		新義	北金谷二丁目	新義	新義新義工事	125.00	C	0401 (3) 鹿瀬
105	05.11.29	地頭	御園	利根字山見	上地主御園地頭	A	山見 (1) 鹿瀬	
		地頭	御園	利根字山見	上地主御園地頭	A	山見 (2) 鹿瀬	

第3表 令和5年1月～12月 土木工事等に係る届出・通知一覧

番号	地名	地区	開業日	通知	通知	提出日	提出日	届出日	届出日	文書番号	山の見送り
3-41	青森	住宅地盤	個人	2023.4.3	2023.4.9	2023.4.9	2023.4.9	第 10 号	第 10 号	工事会社	
3-42	青森	住宅地盤	個人	2023.4.10	2023.4.12	2023.4.14	2023.4.14	第 11 号	第 11 号	工事会社	
3-43	青森	住宅地盤	個人	2023.4.11	2023.4.12	2023.4.14	2023.4.14	第 11 号	第 11 号	工事会社	
3-44	青森(10)	田園	青森市	2023.4.17	2023.4.19	2023.4.20	2023.4.20	第 13 号	第 13 号	地盤整理工事 指導手帳	
3-45	青森	合併区域(1)	青森市	2023.4.24	2023.4.24	2023.5.1	2023.5.1	第 14 号	第 14 号	工事会社	
3-46	青森	住宅地盤	個人	2023.4.27	2023.4.27	2023.5.1	2023.5.1	第 15 号	第 15 号	工事会社	
3-47	青森	田園	青森市	2023.4.28	2023.5.8	2023.5.15	2023.5.15	第 16 号	第 16 号	地盤整理工事 指導手帳	
3-48	青森	住宅地盤	個人	2023.5.8	2023.5.8	2023.5.24	2023.5.24	第 17 号	第 17 号	地盤整理工事	
3-49	青森	住宅地盤	個人	2023.5.11	2023.5.16	2023.5.18	2023.5.18	第 18 号	第 18 号	地盤整理工事	
3-50	青森	住宅地盤	個人	2023.5.13	2023.5.16	2023.5.18	2023.5.18	第 19 号	第 19 号	地盤整理工事	
3-51	青森	住宅地盤	個人	2023.5.17	2023.5.17	2023.5.21	2023.5.21	第 20 号	第 20 号	地盤整理工事	
3-52	青森	下木水道(改修工事)	青森市	2023.5.25	2023.5.29	2023.6.5	2023.6.5	第 21 号	第 21 号	工事会社	
3-53	青森	青森市水道(改修工事)	青森市	2023.5.31	2023.5.31	2023.6.9	2023.6.9	第 22 号	第 22 号	工事会社	
3-54	青森	住宅地盤	個人	2023.6.2	2023.6.6	2023.6.9	2023.6.9	第 23 号	第 23 号	工事会社	
3-55	青森	住宅地盤	個人	2023.6.16	2023.6.16	2023.6.25	2023.6.25	第 24 号	第 24 号	工事会社	
3-56	青森	田園	青森市	2023.6.17	2023.6.17	2023.6.21	2023.6.21	第 25 号	第 25 号	工事会社	
3-57	青森	住宅地盤	個人	2023.6.25	2023.6.29	2023.6.35	2023.6.35	第 26 号	第 26 号	工事会社	
3-58	青森	田園	青森市	2023.6.30	2023.6.30	2023.6.30	2023.6.30	第 27 号	第 27 号	工事会社	
3-59	青森	住宅地盤	個人	2023.6.19	2023.6.19	2023.6.27	2023.6.27	第 30 号	第 30 号	地盤整理工事	
3-60	青森(2)	田園	青森市	2023.6.17	2023.6.16	2023.6.27	2023.6.27	第 31 号	第 31 号	地盤整理工事	
3-61	青森	田園	青森市	2023.6.26	2023.6.28	2023.7.1	2023.7.1	第 43 号	第 43 号	地盤整理工事	
3-62	青森	住宅地盤	個人	2023.6.30	2023.6.30	2023.7.1	2023.7.1	第 44 号	第 44 号	地盤整理工事	
3-63	青森	住宅地盤	個人	2023.6.29	2023.7.5	2023.7.10	2023.7.10	第 45 号	第 45 号	地盤整理工事	
3-64	青森	管理監視地盤(植栽工事)	青森県	2023.7.3	2023.7.23	2023.7.11	2023.7.11	第 46 号	第 46 号	地盤整理工事	
3-65	青森(1)	駐車場	青森市	2023.7.7	2023.7.10	2023.7.20	2023.7.20	第 47 号	第 47 号	地盤整理工事	
3-66	青森	住宅地盤	個人	2023.7.10	2023.7.10	2023.7.20	2023.7.20	第 48 号	第 48 号	地盤整理工事	
3-67	青森(4)	事務所	田園	2023.7.11	2023.7.13	2023.7.20	2023.7.20	第 49 号	第 49 号	地盤整理工事	
3-68	青森	施設整備	青森市	2023.7.19	2023.7.19	2023.7.23	2023.7.23	第 50 号	第 50 号	工事会社	
3-69	青森	木本(改修)	田園	2023.7.18	2023.7.19	2023.8.7	2023.8.7	第 52 号	第 52 号	工事会社	
3-70	青森	法面改修	二内丸山遺跡	2023.7.14	2023.7.21	2023.7.30	2023.7.30	第 53 号	第 53 号	地盤整理工事 指導手帳	
3-71	青森	住宅地盤	個人	2023.7.26	2023.7.21	2023.8.15	2023.8.15	第 59 号	第 59 号	地盤整理工事	

第Ⅱ章 埋蔵文化財包蔵地の登録等

青森市内における周知の埋蔵文化財包蔵地（以下、「遺跡」）は、令和6年1月31日現在で、昨年度より3遺跡増加し、計438遺跡（青森地区333遺跡、浪岡地区105遺跡）となった。今年度の新規登録、範囲変更遺跡の詳細は、下記のとおりである。

第1節 新規登録・範囲変更遺跡

新規登録遺跡は、飛鳥（6）遺跡、山吹（6）遺跡、樽沢村元（4）遺跡である。飛鳥（6）遺跡と山吹（6）

遺跡は、分布調査の成果によるものであり、樽沢村元（4）遺跡は、県教育委員会の試掘調査結果によるものである。

範囲変更遺跡は、石江遺跡、小柳遺跡、樽沢村元（3）遺跡、沢田遺跡、熊沢溜池遺跡である。石江遺跡、小柳遺跡、沢田遺跡については当委員会による試掘調査の成果によるものであり、樽沢村元（3）遺跡、熊沢溜池遺跡については、県教育委員会の試掘調査成果によるものである。

遺跡番号	201-453
遺跡名	飛鳥（6）遺跡
所在地	青森市大字飛鳥字山田
種別	散布地
時代	縄文
遺物	縄文土器
登録年月日	令和5年6月9日（青教文第272号）
備考	新規登録：分布調査の結果による。



第1図 飛鳥（6）遺跡範囲 ($S = 1/25,000$)

遺跡番号	201-454
遺跡名	山吹（6）遺跡
所在地	青森市大字大別内字山吹
種別	散布地
時代	縄文（後）
遺物	縄文土器
登録年月日	令和5年6月9日（青教文第272号）
備考	新規登録：分布調査の結果による。



第2図 山吹（6）遺跡範囲 ($S = 1/25,000$)

遺跡番号	201-455
遺跡名	樽沢村元（4）遺跡
所在地	青森市大字樽沢字村元
種別	散布地
時代	平安
遺物	土師器
登録年月日	令和5年12月20日（青教文第1001号）
備考	新規登録：県教委の試掘調査結果による。



第3図 樽沢村元（4）遺跡範囲 ($S = 1/25,000$)

遺跡番号	201-056
遺跡名	石江遺跡
所在地	青森市大字石江字早山、三内字沢部
種別	集落跡
時代	縄文（前・中）
遺物	縄文土器、石器
登録年月日	令和5年6月9日（青教文第272号）
備考	範囲変更：試掘・確認調査の結果による。



第4図 石江遺跡範囲 ($S = 1/25,000$)

遺跡番号	201-059
遺跡名	小柳遺跡
所在地	青森市小柳2丁目
種別	散布地、集落跡
時代	平安
遺物	土師器
登録年月日	令和5年7月21日(青教文第483号)
備考	範囲変更: 試掘・確認調査の結果による。


第5図 小柳遺跡範囲 ($S = 1/25,000$)第6図 横沢村元(3)遺跡範囲 ($S = 1/25,000$)第7図 沢田遺跡範囲 ($S = 1/25,000$)第8図 熊沢灌池遺跡範囲 ($S = 1/25,000$)

第三章 分布調査及び試掘・確認調査

第1節 分布調査

1. 内真部城館群

今年度の調査は、飛鳥山館跡、前田蝦夷館遺跡、湯ノ沢館遺跡の範囲外において西方に連なる尾根を中心に実施した。飛鳥山館跡では、現在の遺跡範囲から約2km西側の遺跡範囲外の地点及び範囲外の北側の地点、湯ノ沢館遺跡では、現在の遺跡範囲から約1.7km西側の遺跡範囲外の地点、前田蝦夷館遺跡では、現在の遺跡範囲から約0.7km南西側の遺跡範囲外で構造が点在する状況を確認した。なお、第9～11図の赤い囲みは周知の埋蔵文化財包蔵地、灰色の部分は踏査範囲を示す。

・飛鳥山館跡①

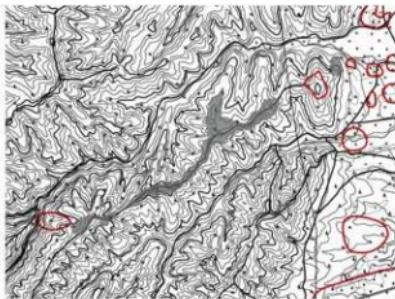
調査日 令和5年5月11日

調査概要 周知の埋蔵文化財包蔵地である飛鳥山館跡について、榎原滋高氏の調査指導の下、遺跡範囲外にある西方の丘陵尾根を中心とした調査を実施した。調査は、飛鳥山館跡範囲外の南西にあたる飛鳥沢に面した丘陵から開始した。鉄塔保安路から尾根に至る地点には、長大な土壘状の高まり（長土壁）を確認した。長土壁は飛鳥山山頂方向から延びるもので、塹底道を壊して構築されていることから、近世以降の所産とみられる。長土壁に沿って尾根頂部に至った地点には、南側に2条の堀切が付属する平場を確認した。平場の南側には飛鳥沢から入り込む沢地形が存在することから、この沢からの侵入に対する構造とみられる。西側に進むと、断続的に塹底道が存在し、北及び南側から沢地形が入り込む地点において、南側斜面に小平場を有する平場を2箇所確認した。さらに尾根を西側に進むと、塹底道と土壘が連続する先の地点に平場、大きく屈曲する塹底道に伴う平場を確認し、北及び南側から沢が入り込む地点には土橋、その先から切通しを確認した。

・飛鳥山館跡②

調査日 令和5年5月27日

調査概要 周知の埋蔵文化財包蔵地範囲外の北側に延びる丘陵を調査した。丘陵頂部には2段の切岸で形成された曲輪があり、曲輪の南側からは堀切を確認した。また、東向きの斜面には、段築のほか、曲輪に至る塹底道を確認した。また、飛鳥山館遺跡範囲内の北側に相当する丘陵頂部においては、周囲を二重の塹で囲まれた曲輪（北曲輪・南曲輪）を確認し、北側から入り込む谷地形の延



第9図 飛鳥山館跡踏査範囲 (S = 1/40,000)

長上から虎口を確認した。

・飛鳥山館跡③

調査日 令和5年11月15日

調査概要 周知の埋蔵文化財包蔵地である飛鳥山館跡について、榎原氏の調査指導の下、遺跡範囲外西方の尾根を中心とした調査を実施した。調査は、5月11日に終了した地点から西側に尾根を進んだ地点で開始した。尾根上には塹底道があり、北側の瀬戸子川方向から谷地形が入り込む地点の北側には塹底道に沿って土壘を確認し、その先から土橋を挟んでさらに塹底道が西側に延びている状況を確認した。塹底道を西側に進んだ丘陵の南側斜面は切岸によって形成され、井戸跡とみられる窪地とともに隣接して平場を確認した。塹底道を西側に進んだ地点には、北側に塹底道が巡る平場を確認し、さらに西側に進んだ地点には、塹底道が連続し、一部堅堀状に広くなる箇所を確認した。塹底道は一旦途切れるが、西側に進んだ地点では、塹底道が南下し、枝分かれ後に合流して、北西側の丘陵頂部に続く状況を確認し、塹底道の右側斜面から小規模な平場を確認した。塹底道は、丘陵頂部で途切れるが、南西に延びる尾根筋の斜面北側に存在する池の付近からもわずかに確認した。

・前田蝦夷館遺跡

調査日 令和5年5月27日

調査概要 周知の埋蔵文化財包蔵地である前田蝦夷館遺跡範囲内及び遺跡範囲外の南西側の尾根を中心に調査を行った。調査は、遺跡範囲外の南

側を東西方向に走る塙底道を通り、南西側に連なる尾根から開始した。北側の湯ノ沢から谷地形が入り込む地点から土橋、塙底道を確認し、東側の斜面に面した地点から平場と塙底道を確認した。さらに尾根上を進んだ丘陵の頂部には広い平場が存在し、平場の北端部には土壠と切岸、南端部に延びる尾根には小平場が存在し、その先は切岸となっていた。広い平場の西側の尾根上は、さらに塙底道が続き、平場の西側近傍から土壠と切岸、北側及び南側から谷地形が入り込む地点には土橋、その先の北側から谷地形が入り込む地点には北側に小平場を持つ土橋を確認した。塙底道は、南西側の丘陵に向かって尾根上に連続して確認でき、さらに尾根上からは土壠を確認した。

・湯ノ沢館遺跡①

調査日 令和5年10月12日

調査概要 周知の埋蔵文化財包蔵地である湯ノ沢館遺跡範囲外の西側の尾根を中心に調査を行った。調査は、湯ノ沢館遺跡西側の丘陵から開始した。北側の内真部川と南側の湯ノ沢から谷地形が入り込む地点には土橋、西側に尾根を進んだ地点には広く平坦な平場を確認した。そこから南側に延びる尾根上には塙底道が続き、尾根を分断するような切通しを確認した。切通しを西側に越えると、尾根筋には塙底道が続き、一部三重となる箇所を確認した。塙底道を西側に進み、さらに西側の丘陵に差し掛かると、塙底道は尾根下を通って屈曲し、塙底道右手の斜面は切岸によって段状となる状況を確認した。丘陵の南東側は土壠と深い塙によって南側の沢からの侵入を防ぐ構造となっていた。その先は、塙底道が西側に続き、塙底道右手の斜面に小平場を確認した。

・湯ノ沢館遺跡②

調査日 令和5年10月24日

調査概要 周知の埋蔵文化財包蔵地である湯ノ沢館遺跡範囲内の尾根を中心に行なった。調査は、湯ノ沢館遺跡南東側の尾根筋から開始した。尾根筋には塙底道が続き、丘陵の南端部に達した地点には北西方向に延びる塙底道が複数存在し、自然地形を利用した平場を確認した。塙底道を北西に進んだ地点には南側に回り込むように塙底道が巡り、その内部からは自然地形を利用した平場を確認した。塙底道は、北側の丘陵頂部に延び、丘陵頂部には四方の切岸、塙底道が巡る曲輪を確認した。また、尾根道を西側に進んだ地点の丘陵東端部には、東向きの斜面が切岸によって形成された平場があり、その南側の斜面に西側に延びる

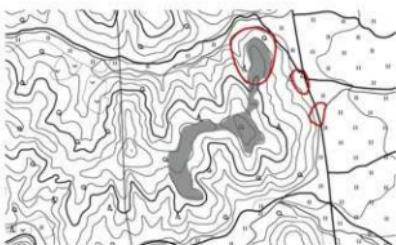
塙底道が存在する状況を確認した。

・湯ノ沢館遺跡③

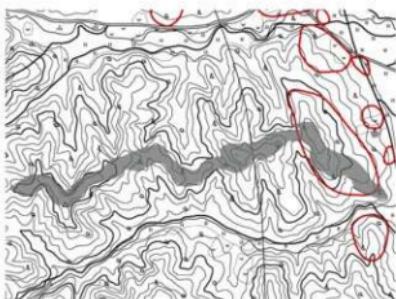
調査日 令和5年11月18日

調査概要 周知の埋蔵文化財包蔵地である湯ノ沢館遺跡について、10月12日、10月24日の調査地点を中心に柳原氏の調査指導の下、調査を行った。湯ノ沢館遺跡範囲外にある西側の丘陵の尾根筋において南側から確認した高土壠と塙底道の北側に隣接する平場については、細長い帶曲輪状であることを確認し、帶曲輪上方の尾根上には西側に延びる塙底道の存在を確認した。丘陵の北側斜面からは、炭焼窯跡とみられる窯床を複数確認した。さらに、前回の調査で確認した塙底道の先において、新たに尾根筋から平場を確認し、さらに塙底道が西側に延びていることを確認した。また、湯ノ沢館遺跡に隣接する丘陵頂部の平坦面については、前回の調査で曲輪の可能性が高いとしていたが、南側に尾根を断ち切るよう切通しが存在するものの、周間に切岸や塙底道が認められないことから、曲輪とせず、自然地形を生かした平場と捉えることとなった。

このほか、湯ノ沢館遺跡範囲外の東側山麓にお



第10図 前田蝦夷館遺跡踏査範囲 ($S = 1/20,000$)



第11図 湯ノ沢館跡踏査範囲 ($S = 1/30,000$)

いて、方形区画の調査を行った。浅い壕と土壙によって平面四角形に区画された状況を確認した。

2. 飛鳥地区

調査日 令和5年5月12日

調査概要 飛鳥地区的山林から土器を確認したとの情報があり、付近の分布調査を実施した。当該地は、周知の埋蔵文化財包蔵地である飛鳥山館跡範囲外の東側に相当する。東向きの斜面が近年伐採された状況となっており、運搬路で削られた範囲から縄文土器を確認した。このため、縄文土器が出土した範囲を飛鳥(6)遺跡として新規登録した。

3. 大別内地区

調査日 令和5年5月19日

調査概要 高田地区在住の市民より、山吹地区的山林において礎を確認したとの情報があり、発見者の案内で付近の分布調査を実施した。当該地は、周知の埋蔵文化財包蔵地である山吹(3)遺跡東側の丘陵地に相当し、丘陵頂部を踏査したところ、礎は遺物として認定できなかったが、黒色土が露出した地点より縄文土器を確認した。このため、縄文土器が出土した範囲を山吹(6)遺跡として新規登録した。



写真1 飛鳥山館跡① (5/11)



写真2 飛鳥山館跡② (5/11)



写真3 飛鳥山館跡③ (5/11)



写真4 飛鳥山館跡④ (5/27)



写真5 飛鳥山館跡⑤ (11/15)



写真6 飛鳥山館跡⑥ (11/15)



写真7 飛鳥山館跡⑦ (11/15)



写真8 前田蝦夷館遺跡① (5/27)



写真9 前田蝦夷館遺跡② (5/27)



写真10 前田蝦夷館遺跡③ (5/27)



写真11 前田蝦夷館遺跡④ (5/27)



写真12 湯ノ沢館遺跡① (10/12)



写真13 湯ノ沢館遺跡② (10/12)



写真14 湯ノ沢館遺跡③ (10/24)



写真15 湯ノ沢館遺跡④ (10/24)



写真16 湯ノ沢館遺跡⑤ (11/18)



写真17 湯ノ沢館遺跡⑥ (11/18)



写真18 湯ノ沢館遺跡⑦ (11/18)



写真19 湯ノ沢館遺跡⑧ (11/18)



写真20 湯ノ沢館遺跡⑨ (11/18)



写真21 飛鳥地区① (5/12)



写真22 飛鳥地区② (5/12)



写真23 大別内地区① (5/19)



写真24 大別内地区② (5/19)

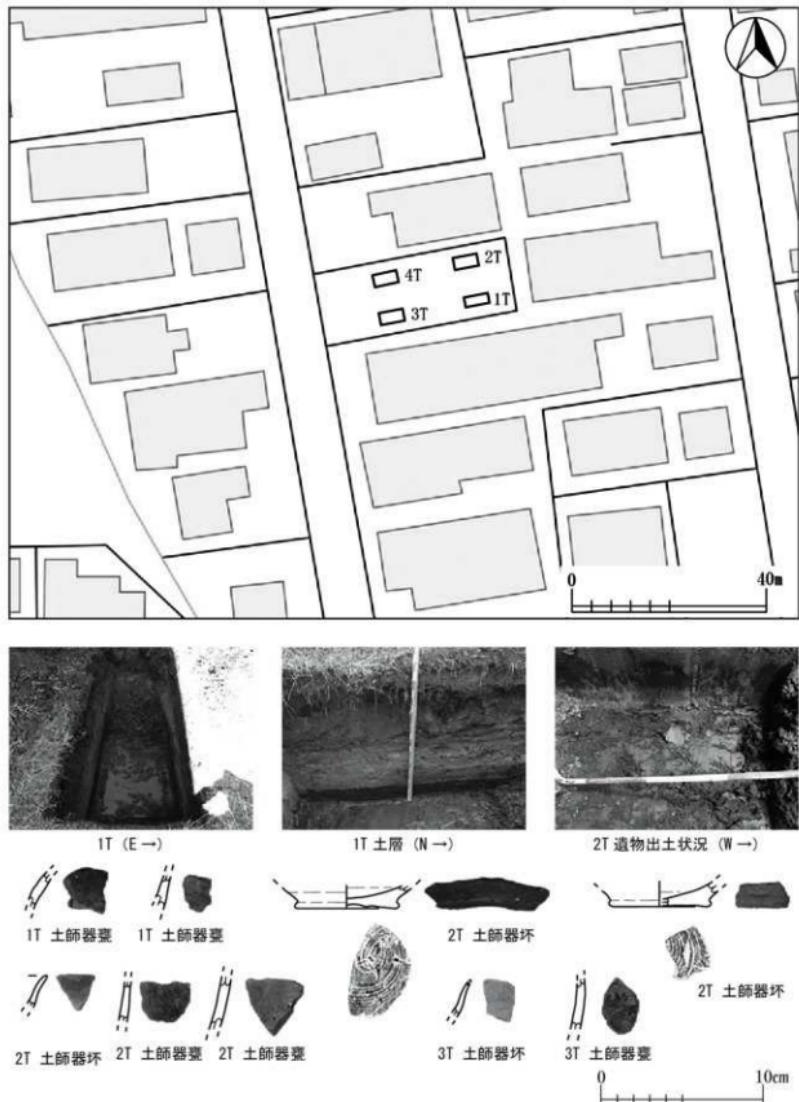
第2節 試掘・確認調査

今年度は、14件の調査結果である。小柳遺跡、石江遺跡、岡本遺跡については、複数地点の調査を実施した。調査の概要は、以下のとおりである。

1	遺跡名 小柳遺跡①	図版番号 第12図
調査地	岡造道3丁目	遺跡台帳番号 201-059
調査原因	住宅建築	調査面積 12m ²
調査期間	令和5年5月12日	
調査方法	トレンチ4箇所設定。重機・人力による掘削。	
調査概要	厚さ90～100cmの盛土が施されていたが、盛土下位は自然堆積が残存し、1～3Tにおいて黒色土と地山の間から土師器を確認した。遺構は確認できなかった。1T:110(盛土90)cm、2T:120(盛土100)cm、3T:110(盛土95)cm、4T:110(盛土90)cm。	
調査後措置	慎重工事で施工。	
2	遺跡名 石江遺跡①	図版番号 第13図
調査地	大字石江字平山地内	遺跡台帳番号 201-056
調査原因	住宅建築	調査面積 12m ²
調査期間	令和5年5月16日	
調査方法	トレンチ4箇所設定。重機・人力による掘削。	
調査概要	厚さ35～60cmの盛土が施されていたが、盛土下位は自然堆積が残存し、全てのトレンチで縄文時代前期の遺物を包含する土層を確認。1T:55(盛土35)cm・縄文土器、2T:90(盛土50)cm・縄文土器、3T:90(盛土50)cm・縄文土器、4T:140(盛土60)cm・縄文土器。	
調査後措置	今後の計画については遺構面に掘削が及ばないよう工法の検討が必要となり、事前に文化遺産課と協議が必要となることを依頼者に伝達。	
3	遺跡名 石江遺跡②	図版番号 第14図
調査地	大字石江字平山地内	遺跡台帳番号 201-056
調査原因	住宅建築	調査面積 22m ²
調査期間	令和5年5月17日	
調査方法	トレンチ5箇所設定。重機・人力による掘削。	
調査概要	北側は削平されていたが、1・5Tより縄文時代の遺構を確認し、南側は4Tより縄文時代の遺物包含層を確認した。1T:15cm・埋設土器遺構1・土坑1・縄文土器、2T:15cm・遺構遺物無、3T:55cm・倒木痕、4T:60cm・遺物包含層・縄文土器、5T:15cm・土坑1・石器。	
調査後措置	遺跡範囲外に設定した4・5Tから遺構・遺物を確認したことから、遺跡範囲を拡張。今後の計画については発掘調査の実施を含めて、文化遺産課と協議が必要となることを依頼者に伝達。	
4	遺跡名 小柳遺跡②	図版番号 第15図
調査地	小柳1丁目地内	遺跡台帳番号 201-059
調査原因	宅地分譲	調査面積 26m ²
調査期間	令和5年6月12日	
調査方法	トレンチ6箇所設定。重機・人力による掘削。	
調査概要	厚さ100cm以上の盛土が施され、過去の建築物による擾乱が認められたが、盛土下位に部分的に自然堆積が残存する状況を確認し、遺跡範囲外に設定した6Tから土師器1点が出土した。遺構は確認できなかった。1T:180(盛土180)cm、2T:130(盛土110)cm、3T:120(盛土100)cm、4T:100(盛土100)cm、5T:165(盛土125)cm、6T:120(盛土100)cm・土師器。	
調査後措置	遺跡範囲外に設定した6Tより遺物を確認したことから、遺跡範囲を拡張。慎重工事により施工。	

5	遺跡名	浪館(2)遺跡	図版番号	第16図
	調査地	大字浪館字平岡地内	遺跡台帳番号	201-012
	調査原因	宅地分譲	調査面積	70m ²
	調査期間	令和5年8月30日		
	調査方法	対象地内に15箇所のトレンチを設定。重機・人力による掘削。		
	調査概要	全体的に自然堆積が残存し、縄文時代・平安時代の遺構・遺物を確認。1T: 50 cm・ピット3・縄文土器・石器、2T: 55 cm・竪穴建物跡1・土師器、3T: 70 cm・竪穴建物跡1・土坑1・縄文土器、4T: 70 cm・竪穴建物跡1、5T: 50 cm、6T: 40 cm・ピット1、7T: 45 cm・ピット1、8T: 50 cm・土坑1、9T: 65 cm、10T: 45 cm、11T: 40 cm、12T: 50 cm、13T: 55 cm、14T: 45 cm・竪穴建物跡1・土師器、15T: 45 cm。		
	調査後措置	今後の計画については遺構面に掘削が及ばないよう工法の検討が必要となり、事前に文化遺産課と協議が必要となることを依頼者に伝達。		
6	遺跡名	沢田遺跡	図版番号	第17図
	調査地	岡造道2丁目地内	遺跡台帳番号	201-051
	調査原因	住宅建築	調査面積	15m ²
	調査期間	令和5年9月4日		
	調査方法	対象地内に6箇所のトレンチを設定。重機・人力による掘削。		
	調査概要	厚さ55cm以上の盛土下位から自然堆積の土層を確認し、遺跡範囲外に設定した5Tより土師器・擦文土器が出土した。遺構は確認できなかった。1T: 80 (盛土55) cm、2T: 90 (盛土60) cm、3T: 95 (盛土60) cm、4T: 95 (盛土70) cm、5T: 110 (盛土70) cm・土師器・擦文土器、6T: 100 (盛土75) cm。		
	調査後措置	調査結果を基に遺跡範囲を拡張。建築工事については、慎重工事により施工。		
7	遺跡名	近野遺跡	図版番号	第18図
	調査地	大字安田字近野地内	遺跡台帳番号	201-065
	調査原因	土地売買	調査面積	29m ²
	調査期間	令和5年9月26日		
	調査方法	対象地内に7箇所のトレンチを設定。重機・人力による掘削。		
	調査概要	4、6Tを除いて、厚さ100cm以上の盛土が施されていたが、盛土下位は概ね自然堆積が残存し、4Tの地山直上の土層より縄文土器が出土した。遺構は確認できなかった。1T: 250 (盛土170) cm、2T: 300 (盛土190) cm、3T: 210 (盛土130) cm、4T: 90 (盛土60) cm・縄文土器、5T: 170 (盛土110) cm、6T: 130 (盛土80) cm、7T: 160 (盛土110) cm。		
	調査後措置	今後の計画については事前に文化遺産課と協議が必要となることを依頼者に伝達。		
8	遺跡名	銀前田遺跡	図版番号	第19図
	調査地	浪岡大字銀字前田地内	遺跡台帳番号	201-411
	調査原因	施設建設	調査面積	9m ²
	調査期間	令和5年10月19日		
	調査方法	対象地内に3箇所のトレンチを設定。重機・人力による掘削。		
	調査概要	厚さ60～95cmの盛土が施されていたが、盛土下位は自然堆積が残存し、1Tより溝跡を確認したほか、土師器が出土した。1T: 100 (盛土60) cm・溝跡・土師器、2T: 125 (盛土95) cm、3T: 105 (盛土85) cm。		
	調査後措置	慎重工事により施工。		
9	遺跡名	小柳遺跡③	図版番号	第20図
	調査地	小柳2丁目地内	遺跡台帳番号	201-059
	調査原因	住宅建築	調査面積	8m ²
	調査期間	令和5年10月23日		
	調査方法	対象地内に3箇所のトレンチを設定。重機・人力による掘削。		
	調査概要	厚さ75～80cmの盛土が施されていたが、盛土下位は自然堆積が残存し、2・3Tより土師器が出土した。遺構は確認できなかった。1T: 80 (盛土75) cm、2T: 90 (盛土80) cm・土師器、3T: 90 (盛土75) cm・土師器。		
	調査後措置	慎重工事により施工。		

10	遺 跡 名	岡本遺跡①	図 版 番 号	第 21 図
	調 査 地	浪岡大字五木松字岡本地内	遺跡台帳番号	201-401
	調査原因	住宅建築	調査面積	54 m ²
	調査期間	令和 5 年 10 月 26 日		
	調査方法	対象地内に 14箇所のトレンチを設定。重機・人力による掘削。		
	調査概要	1 ~ 6T を設定した北側では地表面下 60 cm、7 ~ 14T を設定した南側では地表面下 30 cm の深さより平安時代とみられる遺構を確認した。遺物は確認できなかった。1T : 60 cm・ビット 1、2T : 70 cm・溝跡 1、3T : 75 cm、4T : 65 cm、5T : 65 cm・ビット 2、6T : 70 cm・ビット 4、7T : 50 cm・土坑 1・ビット 1、8T : 50 cm、9T : 45 cm・土坑 1・ビット 1、10T : 35 cm・ビット 3、11T : 35 cm・ビット 2、12T : 35 cm・土坑 1・ビット 1、13T : 30 cm・ビット 1、14T : 35 cm・ビット 2。		
	調査後措置	現地表面に保護盛土を施し、工事立会により施工予定。		
11	遺 跡 名	岡本遺跡②	図 版 番 号	第 22 図
	調 査 地	浪岡大字五木松字岡本地内	遺跡台帳番号	201-401
	調査原因	住宅建築	調査面積	9 m ²
	調査期間	令和 5 年 10 月 27 日		
	調査方法	対象地内に 4箇所のトレンチを設定。重機・人力による掘削。		
	調査概要	厚さ 70 ~ 80 cm の盛土が施されていたが、盛土下位は自然堆積が残存し、いずれのトレンチからも平安時代とみられる遺構を確認したほか、3、4T から土師器を確認した。1T : 120(盛土 70) cm・ビット 2、2T : 95(盛土 80) cm・堅穴建物跡 1・ビット 1、3T : 95(盛土 80) cm・ビット 5・土師器、4T : 90(盛土 80) cm・堅穴建物跡 1・ビット 1・土師器。		
	調査後措置	今後の計画については遺構面に掘削が及ばないよう工法の検討が必要となり、事前に文化遺産課と協議が必要となることを依頼者に伝達。		
12	遺 跡 名	安田近野(2) 遺跡	図 版 番 号	第 23 図
	調 査 地	大字安田字近野地内	遺跡台帳番号	201-309
	調査原因	住宅建築	調査面積	23 m ²
	調査期間	令和 5 年 11 月 13 日		
	調査方法	対象地内に 4箇所のトレンチを設定。重機・人力による掘削。		
	調査概要	自然堆積の土層を確認し、地表面下 40 cm 以下の深さから、縄文時代・平安時代の遺構・遺物を確認。1T : 40 cm・ビット 2・土師器、2T : 50 cm・土坑 1・ビット 1・縄文土器、3T : 40 cm・ビット 1、4T : 40 cm・ビット 7。		
	調査後措置	現地表面に保護盛土を施し、工事立会により施工。		
13	遺 跡 名	川原館遺跡	図 版 番 号	第 24 図
	調 査 地	浪岡大字北中野字下嶋田地内	遺跡台帳番号	201-377
	調査原因	住宅建築	調査面積	27 m ²
	調査期間	令和 5 年 11 月 17 日		
	調査方法	対象地内に 3箇所のトレンチを設定。重機・人力による掘削。		
	調査概要	自然堆積の土層を確認し、地表面下 55 cm 以下の深さから平安時代の遺構・遺物を確認した。1T : 55 cm・溝跡 1・土坑 1・ビット 2・土師器、2T : 60 cm・溝跡 1・土坑 1、3T : 95 cm、4T : 90 cm、5T : 95 cm・土師器、6T : 90 cm、7T : 75 cm・土坑 1・土師器、8T : 70 cm・溝跡 1・土師器。		
	調査後措置	現地表面に保護盛土を施し、工事立会により施工予定。		
14	遺 跡 名	榮山(2) 遺跡	図 版 番 号	第 25 図
	調 査 地	大字細越字榮山地内	遺跡台帳番号	201-212
	調査原因	住宅建築	調査面積	10 m ²
	調査期間	令和 5 年 12 月 12 日		
	調査方法	対象地内に 5箇所のトレンチを設定。重機・人力による掘削。		
	調査概要	自然堆積の土層を確認し、地表面下 40 cm 以下の深さから時期不明の遺構を確認した。遺物は 1T より鉄滓 1 点のみ出土した。1T : 80 cm・鉄滓、2T : 55 cm、3T : 40 cm・土坑 2・ビット 2、4T : 40 cm・ビット 1、5T : 45 cm・堅穴建物跡 1。		
	調査後措置	今後の計画については遺構面に掘削が及ばないよう工法の検討が必要となり、事前に文化遺産課と協議が必要となることを依頼者に伝達。		



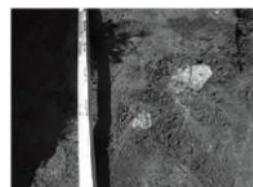
第12図・写真25 小柳遺跡①



1T (S →)



1T 土層 (E →)



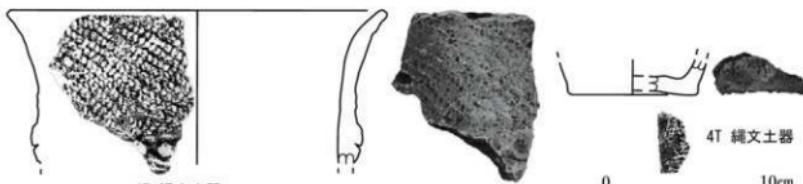
1T 遺物出土状況 (S →)



1T 繩文土器

2T 繩文土器

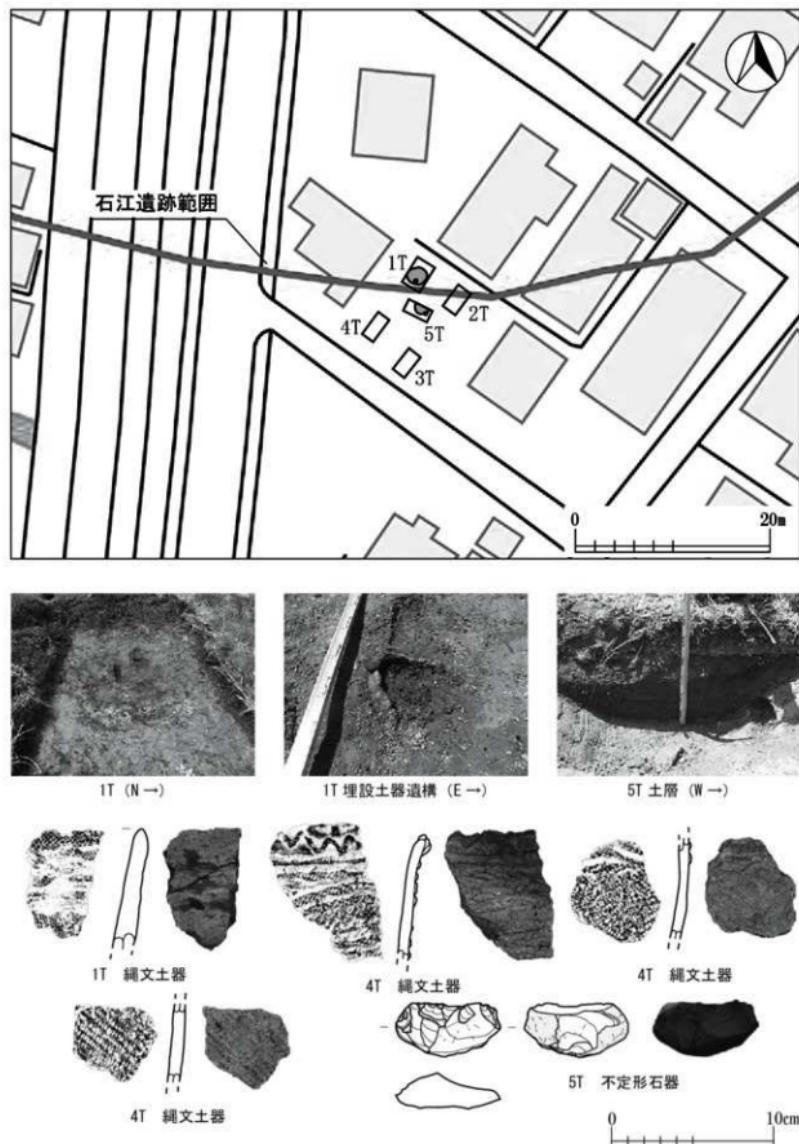
3T 繩文土器



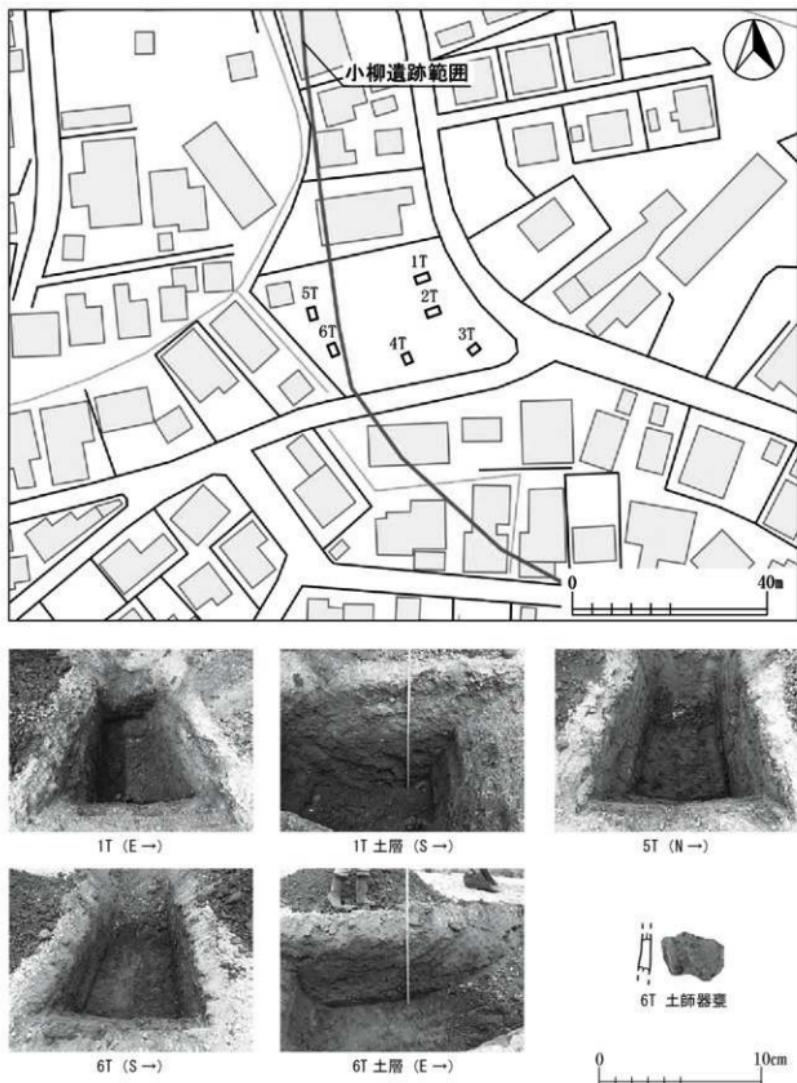
4T 繩文土器

0 10cm

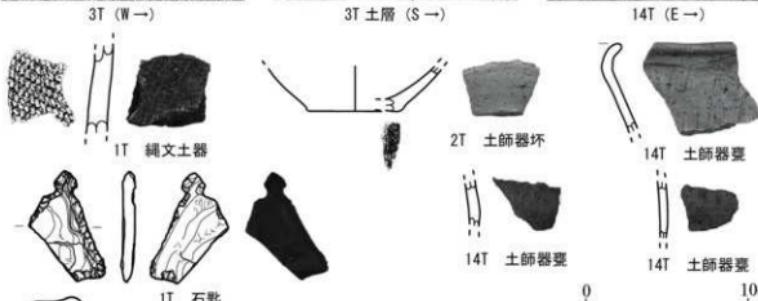
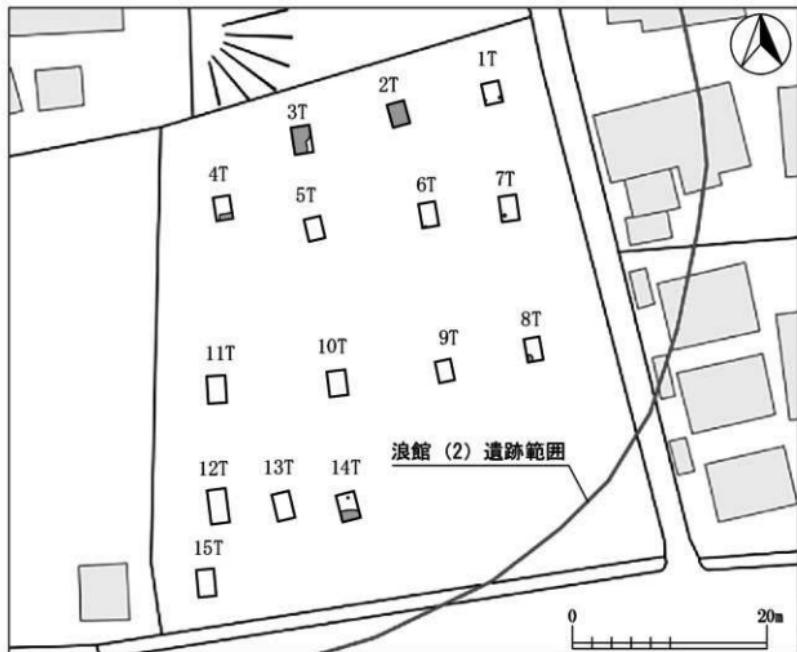
第 13 図・写真 26 石江遺跡①



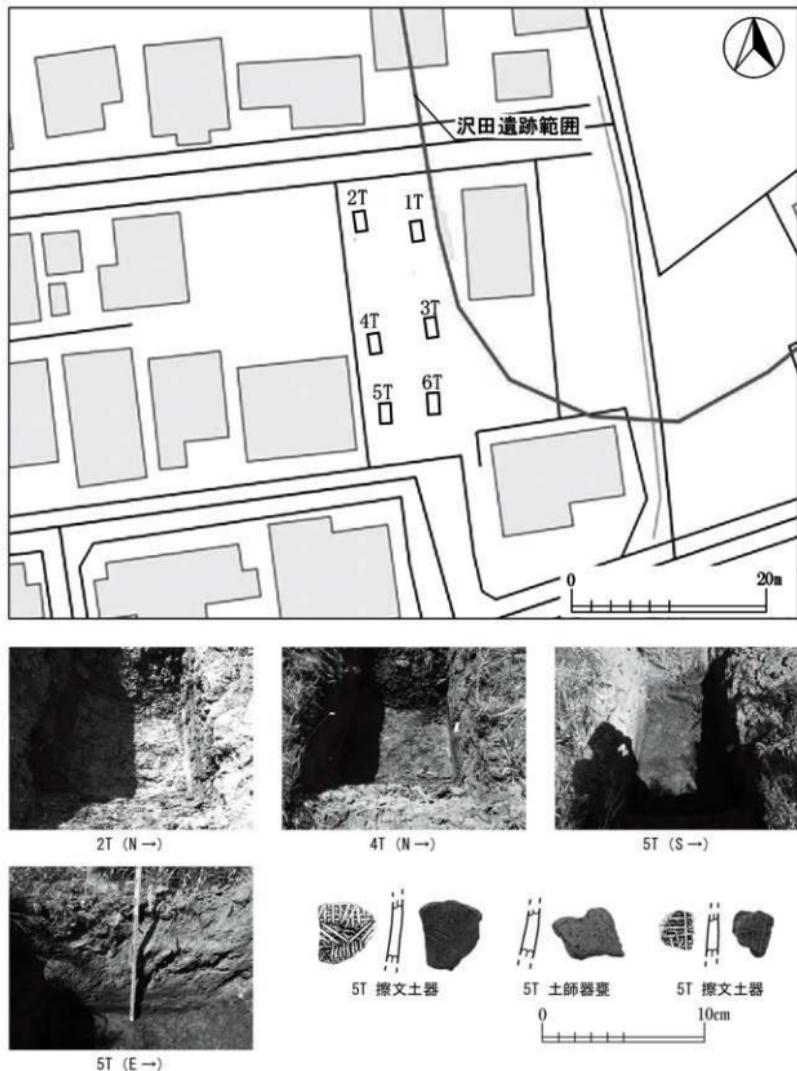
第14図・写真27 石江遺跡②



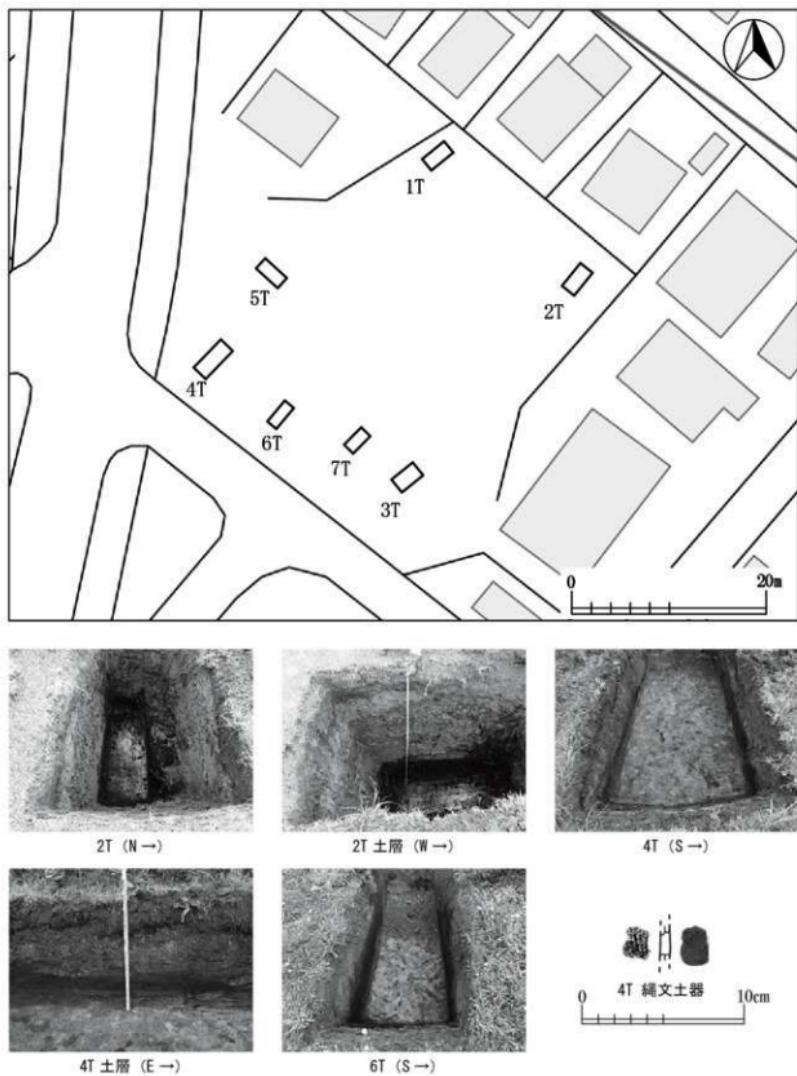
第 15 図・写真 28 小柳遺跡②



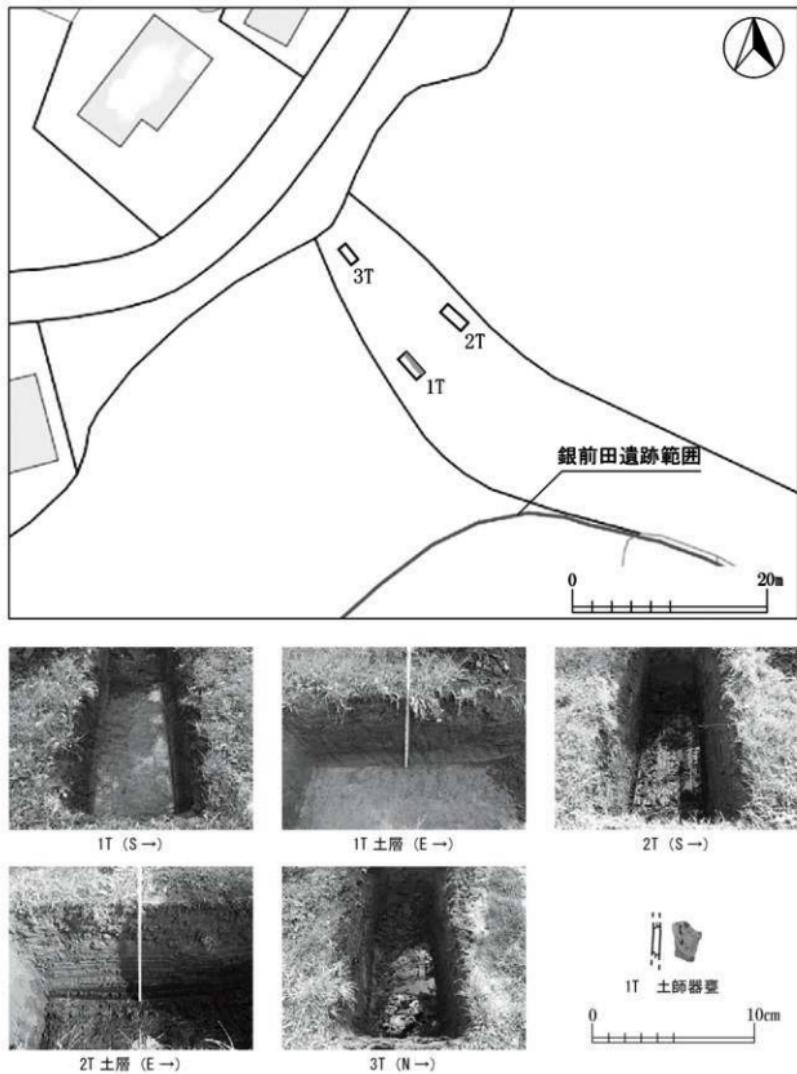
第16図・写真29 浪館(2) 遺跡



第17図・写真30 沢田遺跡



第18図・写真31 近野遺跡



第 19 図・写真 32 銀前田遺跡



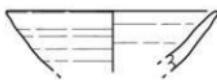
1T (W→)



2T (N→)



2T 土層 (E→)



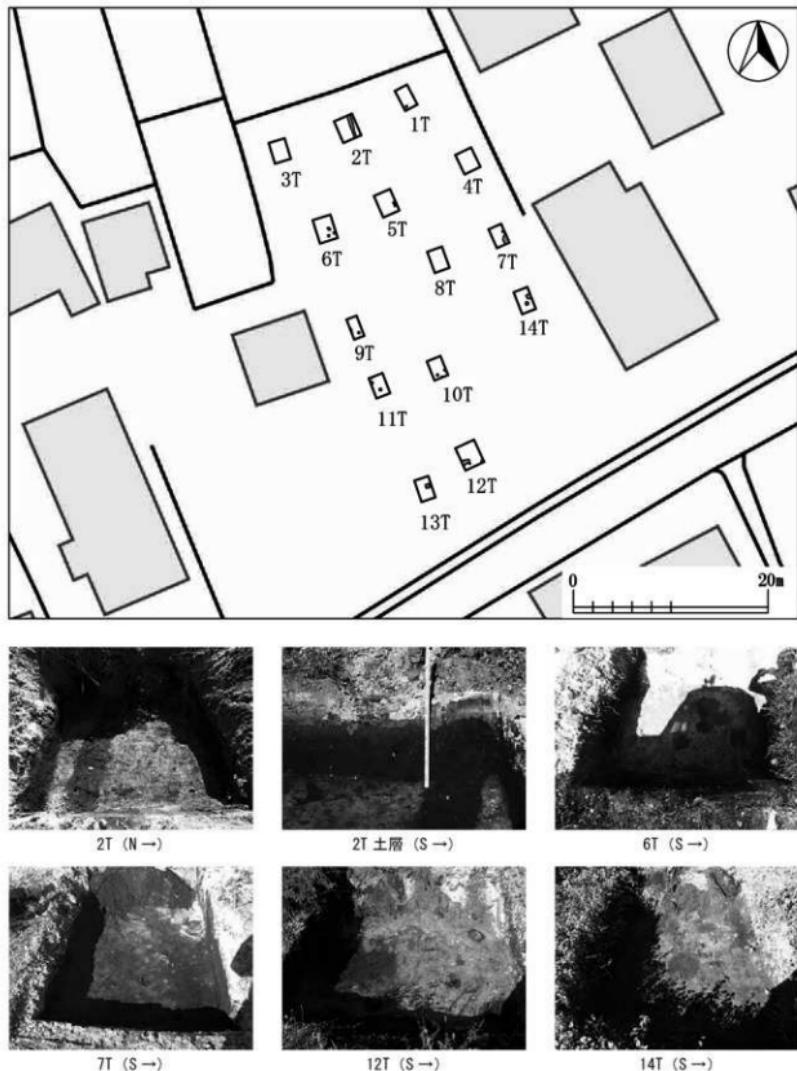
2T 土師器壺



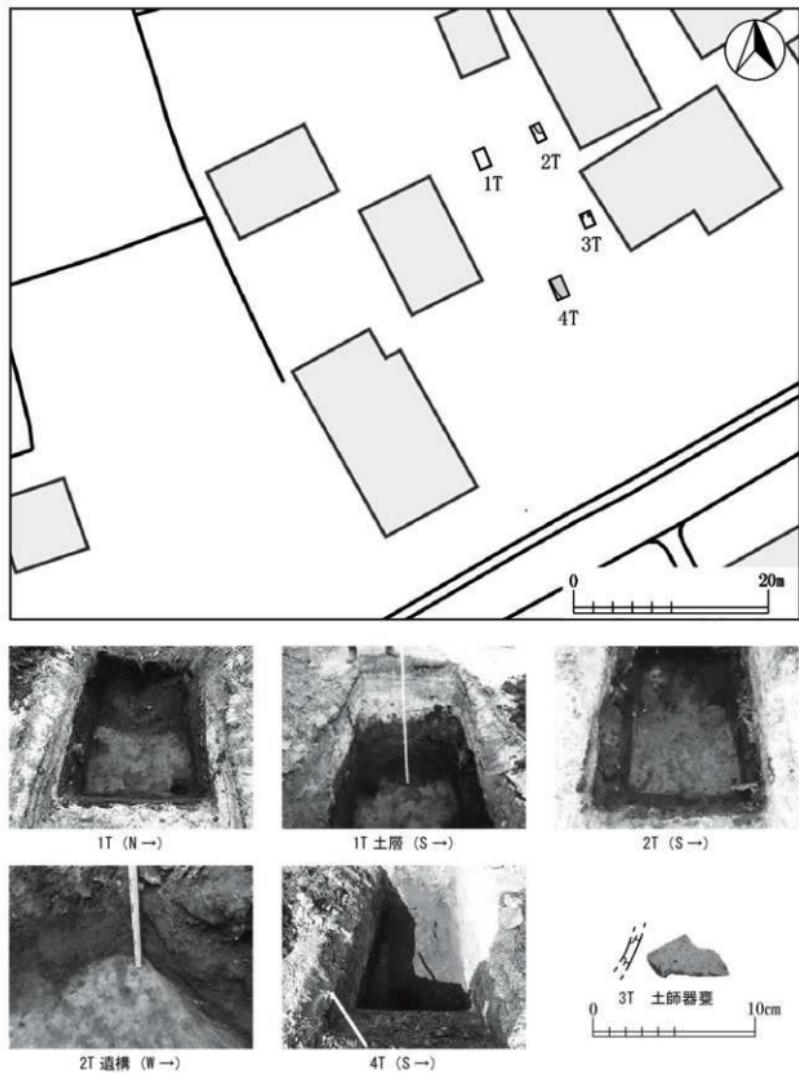
3T 土師器壺

0 10cm

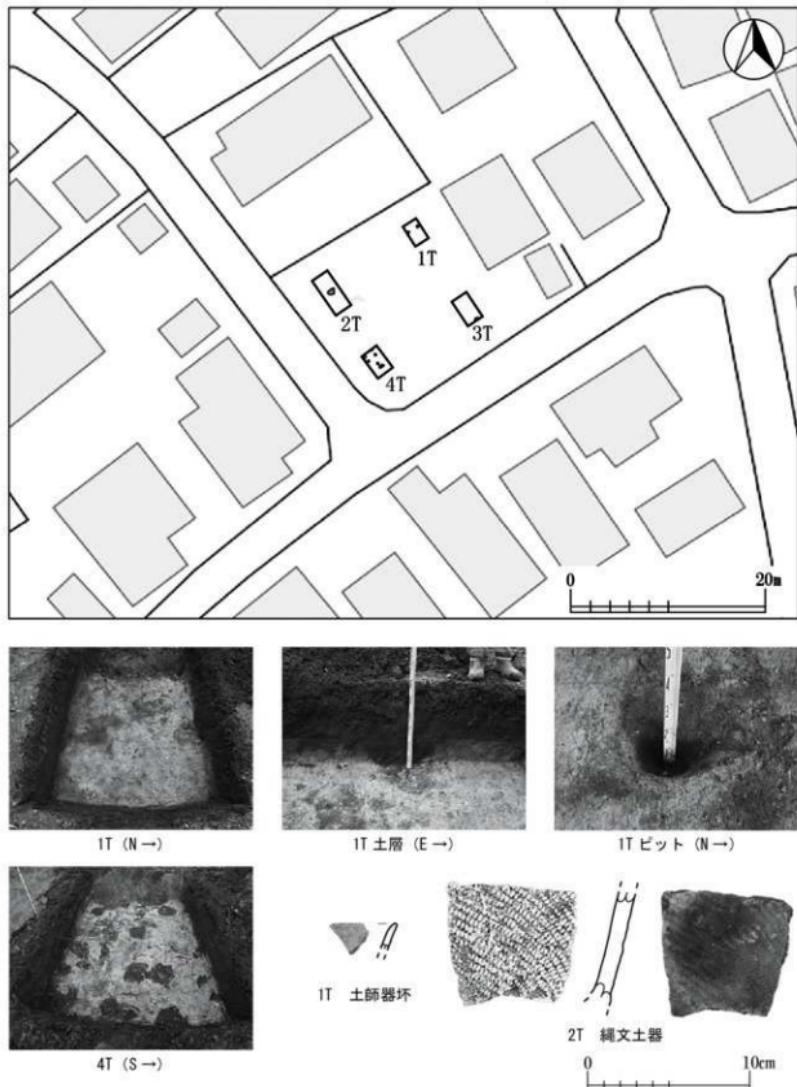
第 20 図・写真 33 小柳遺跡③



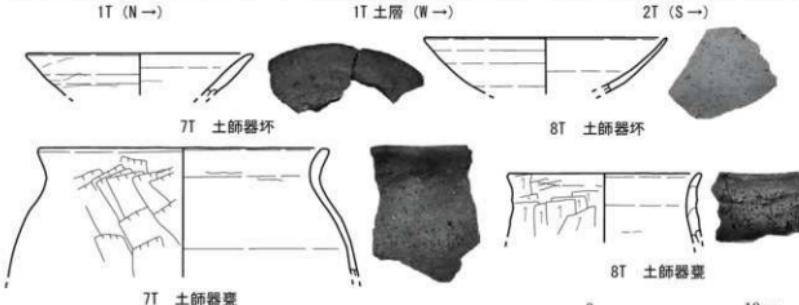
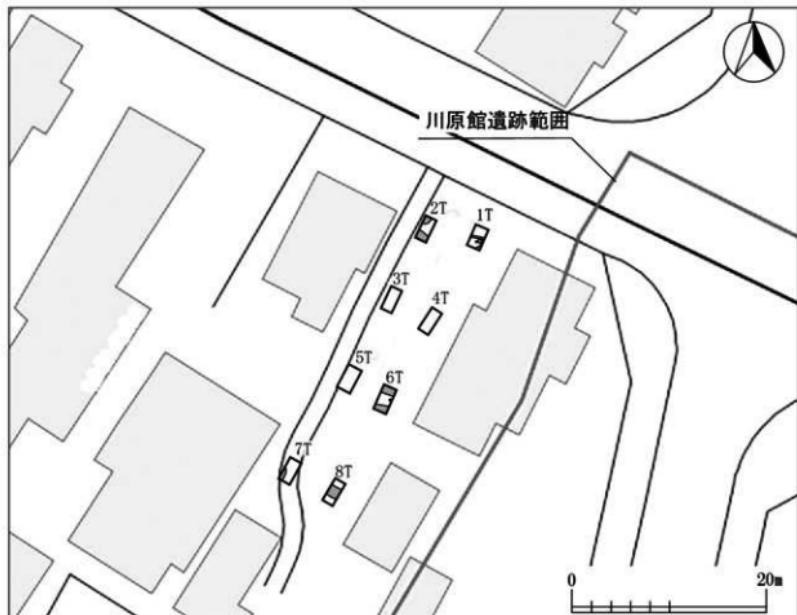
第 21 図・写真 34 岡本遺跡①



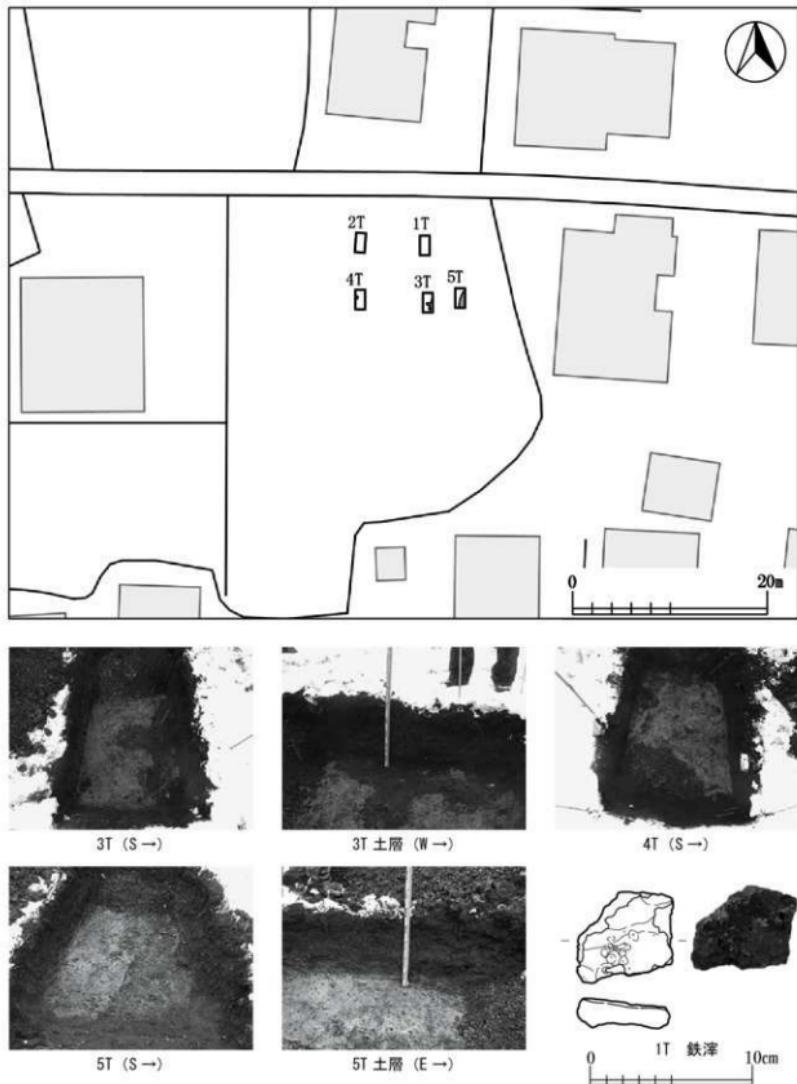
第22図・写真35 岡本遺跡②



第23図・写真36 安田近野(2)遺跡



第24図・写真37 川原館遺跡



第25図・写真38 栄山(2)遺跡

報告書抄録

ふりがな	しないいせきはっくつちょうさほうこくしょ							
書名	市内遺跡発掘調査報告書 32							
副書名								
シリーズ名	青森市埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第 132 集							
編著者名	設楽 政健							
編集機関	青森市教育委員会							
所在地	〒 030-0801 青森県青森市新町一丁目 3 番 7 号 青森市役所駅前庁舎 TEL017 - 718 - 1392							
発行年月日	西暦 2024 年 3 月 26 日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所 在 地	コード	世界測地系 (JGD2000)		調査期間	調査面積 (m ²)	調査原因	
ふりがな 所 収 遺 跡 名	市町村 遺跡番号	北緯	東経					
こひらでいせき 小柳遺跡①	青森市大字石江字小柳 3 丁目	02201	059	40° 49' 28"	140° 47' 26"	20230512	12	住宅建築
こひらでいせき 石江遺跡①	青森市大字石江字平山	02201	056	40° 49' 15"	140° 41' 39"	20230516	12	住宅建築
こひらでいせき 石江遺跡②	青森市大字石江字平山	02201	056	40° 49' 14"	140° 41' 37"	20230517	22	住宅建築
こひらでいせき 小柳遺跡②	青森市小柳 1 丁目	02201	059	40° 49' 22"	140° 47' 23"	20230612	26	宅地分譲
ぬちでいせき 浪館 (2) 遺跡	青森市大字浪館字平岡	02201	012	40° 48' 36"	140° 42' 47"	20230830	70	宅地分譲
さわだいせき 沢田遺跡	青森市岡造道 2 丁目	02201	051	40° 49' 39"	140° 47' 15"	20230904	15	住宅建築
ちのいせき 近野遺跡	青森市大字安田字近野	02201	065	40° 48' 36"	140° 42' 13"	20230926	29	土地売買
しのはまくわいせき 銀前田遺跡	青森市浪岡大字銀前田	02201	411	40° 42' 02"	140° 33' 39"	20231019	9	施設建設
こひらでいせき 小柳遺跡③	青森市小柳 2 丁目	02201	059	40° 49' 26"	140° 47' 24"	20231023	8	住宅建築
おもじいせき 岡本遺跡①	青森市浪岡大字五本松字岡本	02201	401	40° 43' 12"	140° 36' 29"	20231026	54	住宅建築
おもじいせき 岡本遺跡②	青森市浪岡大字五本松字岡本	02201	401	40° 43' 12"	140° 36' 30"	20231027	9	住宅建築
やまだかのむかにせき 安田近野(2) 遺跡	青森市大字安田字近野	02201	309	40° 48' 20"	140° 42' 44"	20231113	23	住宅建築
かわらでいせき 川原館遺跡	青森市浪岡大字中野字下鶴田	02201	377	40° 42' 37"	140° 36' 01"	20231117	27	住宅建築
かのやまとくにせき 栄山(2) 遺跡	青森市大字細越字栄山	02201	212	40° 47' 05"	140° 42' 42"	20231212	10	住宅建築
要 約	市内遺跡発掘調査事業について、2023 年度に実施した 14 件の試掘・確認調査成果、新規登録・範囲変更遺跡の概要や各事業照会の概要等を所収。							

既刊埋蔵文化財関係報告書一覧

青森市の文化財	1962	『三内山遺跡調査概報』	青森市埋蔵文化財調査報告書
#	2	1965『五石山遺跡調査概報』	# 第67集 2003『深泥(3) 遺跡発掘調査報告書』
#	3	1967『玉木山遺跡調査概報』	# 第68集 2003『近野遺跡発掘調査報告書』
#	4	1970『三内山遺跡調査概報』	# 第69集 2003『由内遺跡発掘調査報告書Ⅺ』
#	5	1971『野木山遺跡調査報告書』	# 第70集 2003『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅹ』
#	6	1971『玉木山遺跡発掘調査報告書』	# 第71集 2004『稻山遺跡発掘調査報告書IV』
#	7	1971『大矢野遺跡調査報告書』	# 第72集 2004『稻山遺跡発掘調査報告書V』
#	8	1973『鶴ヶ崎発掘調査報告書』	# 第73集 2004『新町野遺跡発掘調査概報』
		1973『荒沢遺跡』	# 第74集 2004『由内遺跡発掘調査報告書12』
		1983『田代場遺跡調査報告書』	# 第75集 2004『江渡遺跡発掘調査報告書』
青森市の埋蔵文化財	1983『山代(2) 遺跡発掘調査報告書』	# 第76集 2005『宍山(2) 遺跡発掘調査報告書』	
		1985『長森遺跡発掘調査報告書』	# 第77集 2005『赤坂遺跡発掘調査報告書』
		1988『田代(3) 遺跡発掘調査報告書』	# 第78集 2005『三内丸山(6) 遺跡発掘調査報告書』
		1988『横山城跡発掘調査報告書』	# 第79集 2005『由内遺跡発掘調査報告書13』
		1988『三内丸山(1) 遺跡発掘調査報告書』	# 第80集 2005『合子沢松森(2) 遺跡発掘調査概報』
青森市埋蔵文化財調査報告書			# 第81集 2005『石江遺跡群発掘調査概報』
#	第16集	1991『山代(1) 遺跡発掘調査報告書』	# 第82集 2006『三内丸山部(3) 遺跡発掘調査報告書』
#	第17集	1992『埋蔵文化財出土遺物調査報告書』	# 第83集 2006『合子沢松森(2) 遺跡発掘調査概報』
#	第18集	1993『三内丸山(2) 遺跡発掘調査概報』	# 第84集 2006『新町野遺跡発掘調査概報』
#	第19集	1993『由内遺跡発掘調査報告書』	# 第85集 2006『小牧野遺跡発掘調査報告書IX』
#	第20集	1994『小牧野遺跡発掘調査概報』	# 第86集 2006『由内遺跡発掘調査報告書14』
#	第21集	1994『由内遺跡詳細分布調査報告書』	# 第87集 2006『新町野遺跡発掘調査報告書III』
#	第22集	1994『小内・内丸山(2) 遺跡発掘調査報告書』	# 第88集 2006『史跡高屋敷跡発掘調査概報備考書II』
#	第23集	1994『三内丸山(2) 小内・内丸山遺跡発掘調査報告書』	# 第89集 2006『福井遺跡発掘調査報告書』
#	第24集	1995『横内遺跡(構内・構外) 遺跡発掘調査報告書』	# 第90集 2007『月見原(1) 遺跡発掘調査報告書』
#	第25集	1995『由内遺跡詳細分布調査報告書』	# 第91集 2007『由内遺跡発掘調査報告書15』
#	第26集	1995『佐原(2) 遺跡発掘調査報告書』	# 第92集 2007『新町野遺跡発掘調査概報』
#	第27集	1996『長森(1) 遺跡発掘調査報告書』	# 第93集 2007『合子沢松森(2) 遺跡発掘調査報告書』
#	第28集	1996『三内丸山(2) 遺跡発掘調査報告書』	# 第94集 2007『石江遺跡群発掘調査報告書』
#	第29集	1996『由内遺跡詳細分布調査報告書』	# 第95集 2008『野尻(4) 遺跡発掘調査報告書』
#	第30集	1996『小牧野遺跡発掘調査報告書』	# 第96集 2008『長野(2) 遺跡発掘調査報告書』
#	第31集	1997『由内遺跡詳細分布調査報告書』	# 第97集 2008『由内遺跡発掘調査報告書16』
#	第32集	1997『坂峯(1) 遺跡発掘調査報告書II』	# 第98集 2008『新町野遺跡発掘調査報告書IV』
#	第33集	1997『坂峯(2) 遺跡発掘調査報告書II』	# 第99集 2009『由内遺跡発掘調査報告書17』
#	第34集	1997『長森(2) 遺跡発掘調査報告書』	# 第100集 2009『阿武隈(1) 遺跡発掘調査報告書』
#	第35集	1997『小牧野遺跡発掘調査報告書II』	# 第101集 2009『大矢沢野(4) 遺跡発掘調査報告書II』
#	第36集	1997『坂峯(1) 遺跡発掘調査報告書』	# 第102集 2009『綿趙館遺跡発掘調査報告書』
#	第37集	1998『新町野(2) 遺跡発掘調査報告書』	# 第103集 2010『由内遺跡発掘調査報告書18』
#	第38集	1998『野木遺跡発掘調査報告書』	# 第104集 2010『長瀬遺跡発掘調査報告書』
#	第39集	1998『市内遺跡詳細分布調査報告書』	# 第105集 2010『毛野(3) 遺跡発掘調査報告書』
#	第40集	1998『小内・内丸山(2) 遺跡発掘調査報告書III』	# 第106集 2010『石江遺跡群発掘調査報告書II』
#	第41集	1998『野木(2) 遺跡発掘調査報告書』	# 第107集 2011『石江遺跡群発掘調査報告書III』
#	第42集	1998『由内遺跡詳細分布調査報告書』	# 第108集 2011『石江遺跡群発掘調査報告書IV』
#	第43集	1999『山代(2) 遺跡発掘調査報告書』	# 第109集 2011『由内遺跡発掘調査報告書19』
#	第44集	1999『長森(2) 遺跡発掘調査報告書II』	# 第110集 2012『由内遺跡発掘調査報告書20』
#	第45集	1999『小牧野(2) 遺跡発掘調査報告書IV』	# 第111集 2012『野尻遺跡発掘調査報告書』
#	第46集	1999『新町野(2) 野木(2) 遺跡発掘調査概報』	# 第112集 2012『石江遺跡群発掘調査報告書V』
#	第47集	1999『福井(2) 遺跡発掘調査概報』	# 第113集 2013『石江遺跡群発掘調査報告書VI』
#	第48集	2000『由内遺跡発掘調査報告書』	# 第114集 2013『由内遺跡発掘調査報告書21』
#	第49集	2000『長森(2) 遺跡発掘調査概報II』	# 第115集 2013『大矢沢野(2) 遺跡発掘調査報告書III』
#	第50集	2000『小牧野(2) 遺跡発掘調査報告書V』	# 第116集 2014『石江遺跡群発掘調査報告書VII』
#	第51集	2000『坂峯(1)・雪谷(1)・吹(3) 遺跡発掘調査報告書』	# 第117集 2014『由内遺跡発掘調査報告書22』
#	第52集	2000『大矢野(4) 遺跡発掘調査報告書』	# 第118集 2015『由内遺跡発掘調査報告書23』
#	第53集	2000『由内遺跡発掘調査報告書』	# 第119集 2016『由内遺跡発掘調査報告書24』
#	第54集	2001『新町野(2) 遺跡発掘調査報告書 II・野木遺跡発掘調査報告書 II』	# 第120集 2017『川原郷遺跡・中道遺跡・東早稻田遺跡発掘調査報告書』
#	第55集	2001『小牧野(2) 遺跡発掘調査報告書VI』	# 第121集 2017『由内遺跡発掘調査報告書25』
#	第56集	2001『福山遺跡発掘調査報告書I』	# 第122集 2018『由内遺跡発掘調査報告書26』
#	第57集	2001『福山遺跡発掘調査報告書II』	# 第123集 2018『野尻(4) 遺跡発掘調査報告書II』
#	第58集	2001『大矢野(4) 遺跡発掘調査報告書II』	# 第124集 2019『田安跡高塗牧跡発掘調査報告書』
#	第59集	2001『市内遺跡発掘調査報告書』	# 第125集 2019『由内遺跡発掘調査報告書27』
#	第60集	2002『小牧野(2) 遺跡発掘調査報告書VI』	# 第126集 2020『由内遺跡発掘調査報告書28』
#	第61集	2002『大矢野(4) 遺跡発掘調査報告書』	# 第127集 2021『新町山(4)・(5) 遺跡発掘調査報告書』
#	第62集	2002『福山遺跡発掘調査報告書II』	# 第128集 2021『由内遺跡発掘調査報告書29』
#	第63集	2002『福山遺跡発掘調査報告書IV』	# 第129集 2021『田安跡高塗牧跡発掘整備報告書IV』
#	第64集	2002『市内遺跡発掘調査報告書』	# 第130集 2022『由内遺跡発掘調査報告書30』
#	第65集	2003『雪谷山(4)～(7) 遺跡発掘調査報告書』	# 第131集 2023『由内遺跡発掘調査報告書31』
#	第66集	2003『福山遺跡発掘調査報告書III』	# 第132集 2024『由内遺跡発掘調査報告書32』

青森市埋蔵文化財調査報告書第132集
市内遺跡発掘調査報告書 32

発行年月日 2024年（令和6年）3月26日

編 集 青森市教育委員会
〒 030-0801 青森県青森市新町一丁目3番7号
青森市役所駅前庁舎
TEL 017-718-1392

印 刷 青森オフセット印刷株式会社
〒 030-0802 青森県青森市本町二丁目11-16
TEL 017-775-1431

